



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日  
東

上場会社名 株式会社コマースOneホールディングス 上場取引所  
 コード番号 4496 URL <https://www.cm-one.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡本 高彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 田中 耕一 (TEL) 03 (6261) 6677  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,196	8.7	580	△14.2	608	△15.2	441	△11.0
2022年3月期	2,939	16.6	676	18.2	716	21.9	495	26.1

(注) 包括利益 2023年3月期 468百万円(△1.3%) 2022年3月期 475百万円(△15.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	58.78	—	18.0	18.4	18.2
2022年3月期	65.93	—	24.2	25.1	23.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	3,505	2,616	74.6	356.26
2022年3月期	3,108	2,286	73.6	303.93

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,616百万円 2022年3月期 2,286百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	163	△56	△142	1,608
2022年3月期	515	△111	△3	1,643

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,558	11.3	488	△15.9	502	△17.3	336	△23.7	45.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 2社（社名）SAMURAI TECHNOLOGY株式会社、除外 -社（社名）-株式会社空色

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	7,523,400株	2022年3月期	7,523,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期	179,249株	2022年3月期	49株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	7,509,197株	2022年3月期	7,523,388株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	358	△39.1	108	△71.4	134	△67.6	228	△50.0
2022年3月期	588	34.4	377	46.4	415	53.3	457	48.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	30.47	—
2022年3月期	60.80	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,823	1,690	92.7	230.13
2022年3月期	1,716	1,572	91.6	209.06

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,690百万円 2022年3月期 1,572百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢、世界的な金融引締め等を背景とした物価上昇や為替相場の変動等から先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループが事業を展開するEコマース市場は、新型コロナウイルス感染症蔓延による消費活動の変化により大きく拡大いたしました。当連結会計年度期初からの行動制限の緩和の影響により消費者の実店舗への回帰が進んだ結果、実店舗の伸び率が数年ぶりにECを上回る状況となり、EC市場の拡大スピードは鈍化いたしました。しかしながら急激な市場規模の拡大に一服感はあるものの、諸外国に比較して相対的に低いEC化率の上昇が期待できるため今後とも安定して高い成長を維持できるものと考えております。

このような事業環境において当社グループのECプラットフォーム事業は、EC事業拡大を目指す事業者にとって、事業開始時からワンストップで必要なサービスを提供できるインフラとして、インターフェースからバックヤードまで、様々なニーズに対してソリューションを提供することにより、顧客数、GMVの拡大及びカスタマイズ案件獲得の拡大を図ってまいりました。

結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は3,196,433千円（前期比8.7%増）、経常利益608,006千円（前期比15.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益441,358千円（前期比11.0%減）となりました。また主要な事業子会社である株式会社フューチャーショップ及び株式会社ソフテルの2社において重要な経営指標である、GMV及び1店舗あたりGMVは順調に推移したものの、昨年度の新型コロナウイルス感染症蔓延によるEC消費の急拡大の反動により開発売上総額、契約店舗数及び契約社数、1契約社数あたり開発売上高は想定を下回りました。今後もグループ各社の独自性のある経営を重視し、より迅速な経営判断のできる体制を確立して業界の急速な変化に対応できるように努め、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### <資産>

当連結会計年度末における流動資産は2,306,778千円となり、前連結会計年度末に比べ300,653千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得のための預け金が111,289千円増加したことなどによるものであります。固定資産は1,199,215千円となり、前連結会計年度末に比べ96,555千円増加いたしました。これは主に(株)空色を新たに連結したことよりのれんが61,031千円発生したことや、(株)フューチャーショップにおける新機能等の追加開発によりソフトウェア仮勘定が52,045千円増加したことなどによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて397,208千円増加し3,505,993千円となりました。

#### <負債>

当連結会計年度末における流動負債は808,247千円となり前連結会計年度末に比べ55,682千円増加いたしました。これは主にグループ通算制度への移行に伴い未払法人税等が28,264千円増加したことによるものです。固定負債は81,345千円となり前連結会計年度末に比べて11,735千円増加いたしました。これは主に当社のオフィス移転に伴い資産除去債務が13,796千円増加したことによるものです。この結果、負債合計は889,593千円となり前連結会計年度末に比べて67,418千円増加いたしました。

#### <純資産>

当連結会計年度末における純資産合計は2,616,399千円となり前連結会計年度末に比べて329,790千円増加いたしました。これは主に自己株式が139,154千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純利益441,358千円の計上やその他有価証券評価差額金が27,586千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は74.6%（前連結会計年度末は73.6%）となりました。

なお、当社は、ECプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて34,744千円減少し、1,608,724千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は163,971千円（前連結会計年度は515,511千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益679,533千円、減価償却費117,756千円、投資有価証券売却益71,526千円、預け金の増加額111,289千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は56,403千円（前連結会計年度は111,186千円の支出）となりました。

これは主に株式会社フューチャーショップにおける新機能等のソフトウェア開発により無形固定資産取得による支出101,633千円、投資有価証券の売却による収入106,160千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出43,283千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は142,767千円（前連結会計年度は3,683千円の支出）となりました。

これは主に自己株式の取得による支出139,154千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

##### (当社グループ全体の見通し)

国内 BtoC-EC 市場は、欧米諸国や中国のEC化率と比較して未だ低い水準にあり今後とも大きな成長が期待されます。新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい状況は緩和され、実店舗販売からEC店舗販売へのEC化の流れには一服感はあるものの、小売業のEC化の流れは今後も続くものと考えております。

そのような環境の下、当社グループはECサイトのフロントエンドであるインターフェースから売上受注や在庫管理などのバックエンドまで一気通貫でソリューションをSaaS型で提供できるグループの強みを生かして今後も成長していく方針であります。しかしながらパンデミック下での「巣ごもり消費」によるEC市場の急拡大の反動の影響は予想以上に大きく当社グループとしては2023年3月期に続き、このような環境を勘案しながら2024年3月期業績予想を策定いたしました。2024年3月期の売上高3,558百万円（前期比11.3%増）、営業利益488百万円（前期比15.9%減）、経常利益502百万円（前期比17.3%減）、当期純利益336百万円（前期比23.7%減）を計画しております。

##### (売上高)

当社グループは当社が持株会社として連結事業子会社である株式会社フューチャーショップ、株式会社ソフテル、株式会社TradeSafe、SAMURAI TECHNOLOGY株式会社、株式会社空色の5社を統括しております。各連結事業子会社の運営する事業は、ECサイト運営支援という観点で繋がっており、当社グループの運営する事業はECサイト運営事業者に必要なサービスをグループワンストップで提供する「ECプラットフォーム事業」の単一セグメントとしております。主な子会社毎の具体的な売上高の設定方法は以下の通りです。

##### ①株式会社フューチャーショップ

株式会社フューチャーショップは中小・中堅企業を中心としたECサイト運営事業者向けにSaaS型にてECサイト構築、運用支援プラットフォーム「futureshop」を提供しております。売上高は主にフューチャーショップサービス売上（月額利用料、初期導入費用）及び提携サービスに伴う売上で構成されております。フューチャーショップサービス売上については、直前期の実績を考慮して店舗件数は前期末時点から0.5%増加し、顧客当たり売上も増加を見込んで算出しております。提携サービスに伴う売上については直前期の実績及び決済代行会社を通じた流通総額の増加推移を勘案して算出しております。結果、株式会社フューチャーショップの売上高は2,491百万円（前期比2.3%増）を見込んでおります。

##### ②株式会社ソフテル

株式会社ソフテルは多店舗展開するEC運営者のバックヤードを一元管理するシステム（「通販する蔵」）などをSaaS型にて顧客のニーズに合わせて一部、カスタマイズ提供しております。売上高は主に「通販する蔵」の初期導入及び改修に伴うカスタマイズ売上及び毎月定額で設定する月額保守売上で構成されております。カスタマイズ売上については、2024年3月までの受注予定案件を中心に、案件検収時期及び当社グループであるSAMURAI TECHNOLOGY株式会社での開発リソース確保を勘案して予想値を策定しております。結果、株式会社ソフテルの売上高は816百万円（前期比13.2%増）を見込んでおります。

##### (売上原価)

売上原価は主に開発人件費、サーバ関連費用及び減価償却費であります。開発人件費は人員採用計画及び前期買収いたしましたSAMURAI TECHNOLOGY株式会社及び株式会社空色の開発人件費を加えた前期の実績により算出しております。サーバ関連費用は売上に一定料率を乗じて算出しております。減価償却費は主に開発ソフトウェア資産の減価償却となり、ソフトウェア開発計画に伴うソフトウェア仮勘定からの資産計上分を算出しております。上記の結果、売上原価は1,555百万円（前期比11.8%増）、売上総利益は2,002百万円（前期比11.0%増）を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は1,514百万円(前期比23.7%増)を見込んでおります。販売費及び一般管理費は人件費と支払報酬等のその他経費で構成されており、人件費は業務拡大を背景に主にSUMURAI TECHNOLOGY株式会社及び株式会社空色を加えた顧客サポート部門、管理部門及び営業部門の人員採用計画により算出しております。また、認知度向上及び顧客獲得のため宣伝広告費の増額を予定しております。その他経費については、直近の実績をベースに勘定科目毎に集計しております。加えて当期株式会社空色の買収に伴うのれん償却額30百万円を計上しております。この結果、営業利益は488百万円(前期比15.9%減)を見込んでおります。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は保有する Wistron Information Tech & Services Corp 株式からの受取配当金20百万円を見込んでおります。営業外費用は主に組合の出資により持分相当額の減少として5百万円を見込んでおります。この結果、経常利益は502百万円(前期比17.3%減)を見込んでおります。

(特別損益)

特別利益は有価証券売却益10百万円(前期比86.0%減)を見込んでおります。特別損失の発生は見込んでおりません。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

税金費用は実効税率ベースで算定し176百万円を予想しております。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は336百万円(前期比23.7%減)を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は現在、日本国内において事業を展開していることから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,643,469	1,608,724
売掛金及び契約資産	268,938	290,977
仕掛品	5,102	5,872
前払費用	78,914	91,027
預け金	930	112,220
その他	13,545	201,958
貸倒引当金	△4,776	△4,002
流動資産合計	2,006,125	2,306,778
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	53,549	68,756
工具、器具及び備品（純額）	9,627	13,193
その他（純額）	12,316	9,032
有形固定資産合計	75,493	90,981
無形固定資産		
のれん	-	61,031
ソフトウェア	309,053	257,924
ソフトウェア仮勘定	7,125	59,170
その他	77	5,144
無形固定資産合計	316,256	383,270
投資その他の資産		
投資有価証券	548,046	563,479
破産更生債権等	615	3,058
敷金及び保証金	90,574	98,090
繰延税金資産	56,275	47,358
その他	15,996	16,017
貸倒引当金	△598	△3,041
投資その他の資産合計	710,909	724,962
固定資産合計	1,102,659	1,199,215
資産合計	3,108,784	3,505,993



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,640	37,446
短期借入金	-	47,000
前受金	394,493	408,635
未払法人税等	76,620	104,885
賞与引当金	26,461	581
その他	201,348	209,699
流動負債合計	752,565	808,247
固定負債		
繰延税金負債	20,115	21,667
資産除去債務	33,649	47,445
その他	15,845	12,232
固定負債合計	69,610	81,345
負債合計	822,175	889,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,400	210,400
資本剰余金	160,400	160,400
利益剰余金	1,682,015	2,123,373
自己株式	△70	△139,224
株主資本合計	2,052,744	2,354,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,864	261,450
その他の包括利益累計額合計	233,864	261,450
純資産合計	2,286,609	2,616,399
負債純資産合計	3,108,784	3,505,993

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,939,619	3,196,433
売上原価	1,235,877	1,392,326
売上総利益	1,703,741	1,804,107
販売費及び一般管理費	1,027,230	1,223,756
営業利益	676,511	580,350
営業外収益		
受取利息	17	22
受取配当金	26,496	25,715
為替差益	11,462	628
その他	2,435	1,452
営業外収益合計	40,412	27,818
営業外費用		
その他	6	162
営業外費用合計	6	162
経常利益	716,917	608,006
特別利益		
投資有価証券売却益	15,739	71,526
特別利益合計	15,739	71,526
税金等調整前当期純利益	732,656	679,533
法人税、住民税及び事業税	255,632	235,583
法人税等調整額	△18,958	2,591
法人税等合計	236,674	238,175
当期純利益	495,981	441,358
親会社株主に帰属する当期純利益	495,981	441,358

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	495,981	441,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,725	27,586
その他の包括利益合計	△20,725	27,586
包括利益	475,256	468,944
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	475,256	468,944

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	210,400	160,400	1,186,033	-	1,556,833
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			495,981		495,981
自己株式の取得				△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	495,981	△70	495,911
当期末残高	210,400	160,400	1,682,015	△70	2,052,744

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	254,590	254,590	1,811,423
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			495,981
自己株式の取得			△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,725	△20,725	△20,725
当期変動額合計	△20,725	△20,725	475,185
当期末残高	233,864	233,864	2,286,609

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	210,400	160,400	1,682,015	△70	2,052,744
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			441,358		441,358
自己株式の取得				△139,154	△139,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	441,358	△139,154	302,204
当期末残高	210,400	160,400	2,123,373	△139,224	2,354,948

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	233,864	233,864	2,286,609
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			441,358
自己株式の取得			△139,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,586	27,586	27,586
当期変動額合計	27,586	27,586	329,790
当期末残高	261,450	261,450	2,616,399

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	732,656	679,533
減価償却費	75,666	117,756
のれん償却額	-	909
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,400	△147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△511	△26,036
受取利息及び受取配当金	△26,513	△25,737
為替差損益 (△は益)	△11,614	△848
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,739	△71,526
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,194	10,109
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,129	28
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,061	△370
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,379	△17,078
前受金の増減額 (△は減少)	38,283	△2,151
預け金の増減額 (△は増加)	△930	△111,289
その他	25,171	△132,708
小計	770,062	420,441
利息及び配当金の受取額	26,513	25,737
法人税等の支払額	△281,064	△282,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	515,511	163,971
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,080	-
定期預金の預入による支出	△150	-
有形固定資産の取得による支出	△1,248	△7,684
無形固定資産の取得による支出	△115,892	△101,633
投資有価証券の売却による収入	27,422	106,160
投資有価証券の取得による支出	-	△9,996
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△43,283
敷金及び保証金の差入による支出	△18,172	-
その他	△4,226	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,186	△56,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,612	△3,612
自己株式の取得による支出	△70	△139,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,683	△142,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,586	453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	412,227	△34,744
現金及び現金同等物の期首残高	1,231,242	1,643,469
現金及び現金同等物の期末残高	1,643,469	1,608,724



## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ECプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	303円93銭	356円26銭
1株当たり当期純利益	65円93銭	58円78銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	495,981	441,358
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	495,981	441,358
普通株式の期中平均株式数(株)	7,523,388	7,509,197

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年2月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、2月15日以降、自己株式を取得しております。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元を強化するとともに、資本効率の向上および機動的な資本政策の遂行を図るため自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得対象株式の種類

当社普通株式

3. 取得し得る株式の総数

330,000株(上限)

4. 株式の取得価額の総額

250,000,000円(上限)

5. 取得期間

2023年2月15日から2023年7月31日

6. 取得の方法

投資一任契約に基づく市場買付

7. 2023年4月1日以降の自己株式の取得状況(2023年4月30日現在)

①取得した株式の種類

当社普通株式

②取得した株式の総数

41,400株

③株式の取得価額の総額

31,571,600円